

登録番号	プロトコール名			
C85-135A	濾胞性リンパ腫 G-CHOP療法(C2-6)			
診療科	血液内科	1クールの日数	21日	
審査日	2018年11月10日	所要時間	244分	適応外使用 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
適応病名	濾胞性リンパ腫	放射線療法	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
実施部署	<input checked="" type="checkbox"/> 外来、 <input checked="" type="checkbox"/> 病棟、 <input type="checkbox"/> その他( )			
適応分類	<input checked="" type="checkbox"/> 初発、 <input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発、 <input type="checkbox"/> 術後補助、 <input type="checkbox"/> 術前補助、 <input type="checkbox"/> その他( )			
番号	抗がん薬名	1日投与量	投与方法	投与日(d1、d8等)
1	Obinutuzumab(ガザイバ®)・GA101	1000 mg/body	div.	d1
2	Cyclophosphamide(エンドキサン®)・CPM	750 mg/m2	div.	d1
3	Doxorubicin hydrochloride(ドキシソルビシン)・DXR	50 mg/m2	div.	d1
4	vincristine(オンコビン®)・VCR	1.4 mg/m2	div.	d1
5	prednisolone(プレドニン®)・PSL	100 mg/body	p.o.	d1-5
6				
7				
8				
エビデンスレベル	<input checked="" type="checkbox"/> 治療 (エビデンスレベル <input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 )			
ガイドライン文献名	Marcus R, et al.: N Engl J Med: 377, 1331 (2017)			
その他(減量・増量規定、プロトコールに関する補足説明など)	vincristine最大投与量2mg 減量は添付文書に従う			

プロトコールに関する解説
プロトコールに関する解説はありません。

# がん化学療法処方

プロトコール名		1クールの日数	
濾胞性リンパ腫 G-CHOP療法(C2-6)		21日	
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)	投与経路	投与時間
day1	1) 生食 50 mL(プライミング用) 2) <b>ガザイバ</b> 1000 mg + 生食 210 mL (計 250 mL) <1サイクル目の投与でGrade3以上のinfusion reactionが 発現しなかった場合> 25mL/hで開始し、30分後に225mL/hに増量 (30分後の投与速度は最大225mL/hまでの範囲で変更可)。 0.2又は0.22μmのインラインフィルターを使用 点滴開始30分前までにカロナール錠500mg2錠と レスタミン錠10mg5錠内服 3) 生食 50 mL(フラッシュ用) 4) グラニセトロン 1mg バッグ 5) <b>ドキシソルピシン</b> 50 mg/m <sup>2</sup> + 生食 100mL 6) <b>オンコピン</b> 1.4 mg/m <sup>2</sup> + 生食 50mL vincristine最大投与量2mg 7) <b>エンドキサン</b> 750 mg/m <sup>2</sup> + 生食 250mL 8) 生食 50 mL (フラッシュ用)	div.	約94分
day1-5	1) プレドニン 100 mg ガザイバ投与1時間以上前に内服すること	div. div. div. div. div. div.	5分 15分 30分 5分 90分 5分
プロトコール 適応時 表示コメント	ガザイバ点滴開始30分前までにカロナール錠500mg2錠とレスタミン錠10mg5錠内服。 プレドニン100mg/dayをday1-5に経口投与する。		
照射併用時 照射線量	グレイ (備考欄)		